

おけさ柿の開花予測は**平年並**
 ～強風の後には灰色かび病の発生に注意！～

佐渡農業普及指導センター羽茂分室

1 生育状況について

| 「品種」 | 年次 | 発芽期 | 展葉期 | 新梢伸長 停止期 | 開花始期 | 開花盛期 |
|--------|----|-------|-------|-------------|---------|--------|
| 「平核無」 | R4 | 4月7日 | 4月18日 | | | |
| | R3 | 3月29日 | 4月13日 | 5月16日 | 6月2日 | 6月4日 |
| | 平年 | 4月3日 | 4月19日 | 5月16日 | 5月30日 | 6月2日 |
| 「刀根早生」 | R4 | 4月7日 | 4月17日 | | (5月31日) | (6月3日) |
| | R3 | 3月29日 | 4月10日 | 5月14日 | 6月3日 | 6月5日 |
| | 平年 | 4月4日 | 4月19日 | 5月15日 | 5月30日 | 6月1日 |

注1 「平核無」6地点、「刀根早生」3地点生育調査樹の平均値

注2 平年は過去10カ年の平均値

注3 () は4月24日までのアメダスデータに基づく予測値

気温は1月～2月は平年並みからやや低く、3月以降は平年並みからやや高く推移しました。この影響で生育は発芽期までは平年よりやや遅く、展葉期は平年並みでした。生育ペースは平年並です。

アメダスデータに基づいた開花予測システムにおいて、

今年の開花始は「刀根早生」で5月31日(平年比+1日)頃となり、平年並

になる予想です。

開花予測から、逆算する方法で開花直前のアザミウマ類防除日程を計画し、散布間隔を考えながら、病害虫防除を徹底しましょう。

2 今後注意する病害虫防除について

(1) 灰色かび病

霜害や強風の影響で若葉が傷ついた後に、突発的に灰色かび病が多発する恐れがあります。罹病すると激しい落葉を引き起こすほか、ときには落果の要因となります。若葉が被害を受けた園地では速やかに臨時防除を実施してください。

(2) ハマキムシ類、ケムシ類

今後、気温の上昇とともに発生、加害がみられるようになります。

葉数を確保し果実の初期肥大を図るため、被害が確認された園地では、早急に臨時防除を行いましょう。

(3) カキサビダニ

近年、カキサビダニによる被害がみられます。前年被害が見られた園地では、地域防除暦を参考にカキサビダニに登録のある剤を散布しましょう。

防除適期は新梢停止期頃(5月15日～20日頃)です。



カキサビダニ被害果

※H26年8月中旬頃 羽茂

注 上記の病害虫防除は地域の防除暦に従って実施してください。